

中央大学国際経営学部 企業訪問報告書

調査テーマ	日本企業の対外投資における JETRO の役割とその効果について
調査日	2024 年 11 月 13 日(水)
調査先	JETRO 本部(東京都港区赤坂 1 丁目 12-32 アーク森ビル 6 階)
担当 CVS	江戸唯吹、松橋由里、松橋りさ
授業科目/学部企画名	企業訪問
参加学生数(学年)	2 年生 4 人、1 年生 17 人
調査趣旨・目的	JETRO 職員の方々のお話を伺い、理念や業務内容についての理解を深める。
調査結果	<p>独立行政法人日本貿易振興機構(以下 JETRO)を訪問し、小島英太郎様に経歴や業務内容についてお話を伺った。</p> <p>その後、海外駐在を経験された男性職員お二人と、3年目の女性職員お二人に学生の質問に答えていただいた。</p> <p>JETRO とは、国内51か所、海外55か国75か所の事務所を持ち、対日スタートアップへの投資促進、日本の農林水産物や食品の輸出支援、中小企業の海外展開支援を通して日本の通商政策や企業活動に貢献する独立行政法人である。</p> <p>小島様からは主にミャンマーとシンガポールに駐在したときのお話を伺った。ミャンマーに駐在されたときに駐在員は一人だけで、残りは現地の方のみだったらしい。中国以外からも輸入をしようという当時の日本の情勢もあり、2003 年アメリカのミャンマー製品輸入禁止で生活に困っていたミャンマーの縫製業界の方を助けるための活動を実施されたそうだ。</p> <p>事例として、日本からミャンマーの工場に視察が来たときなどに備え、当時あまりきれいではなかった工場にも工場管理を学べる機会を設けたり、人材育成センターを設立したというお話を伺った。シンガポールに駐在したときは人事が難しいという企業の声を受けてセミナーを開催したり、アジア圏の様々な意見を聞くために ASEAN シンポジウムに参加されていたとのこと。日系スタートアップ企業が海外進出するときは英語圏で多くの国と交流があり情報が得られやすいシンガポールで ASEAN の情報を収集することも多いという。</p> <p>職員の方たちとの交流会では 4 グループに分かれて、私の所属した班では、企画部の今井様に海外地域戦略班の仕事内容や日本企業の投資姿勢などについて、調査部の宮島様に海外出張の制度やヒアリング調査の方法や集めた情報の分析の仕方など韓国での例を交えて、多くの質問にご回答いただいた。</p> <p>JETRO の現場は多様な国で様々な事業を行っていることから、各地域の事情に合わせて臨機応変に解決案を考え、企業を支援するやりがいなどをお伺いする中で、情報のインプット、アウトプットだけでなく、組織全体を広い視野で見ること、管理業務がどういうものかを知っておくこと、相手との会話</p>

の中で生じた疑問をその場で解消することの重要性などもお話いただいた。

今回の企業訪問では、JETRO が実施する業務について理解が深まったが、特定の業界や商品を扱っているわけではなく、それだけに職員の方々がお話くださったそれぞれの業務内容や観点、意識は非常に広範なもので、学生の自分にはなかった視野を得ることができる貴重な機会となった。好きなものと適性は違うこともあるため、好きではなくても試しにやってみることが大事だというご教示もいただいたので、今後は私も様々なことに挑戦し、自分の好きなことや適性を見つけていきたいと思う。

※調査時の写真



